

おおづまち議会だより

0ZU

2023
103号
3月定例会



4月23日 つつじ祭り 大津北中吹奏楽部
村上写真館提供

本会議動画配信
はじまりました



議会だよりが
読めるアプリ



議会広報編集 特別委員会

山鹿市広報広聴委員会から視察を 受けました

2023年度1件目です



山鹿市は「市民と繋がる議会だより」を
作成日数・町民の声をどう取り入れてい
るのかなど、多岐にわたるものでした。
質問は編集方針やテーマ・作業内容や
事前には聞いていた質問への回答を
入れたパワーポイントを作成し、大津町
議会だよりの概要と今までの取り組みを
説明しました。
意気込みを感じました。
議員で構成されており、委員会編成さ
れたばかりでの視察ということ、熱い
事務局2人が視察に来られ、意見交換を
しました。
4月6日に山鹿市広報広聴委員5人・
事務局2人が視察に来られ、意見交換を
しました。

魅力ある
議会だよりを
つくるために

パワーポイントで説明
5月からコロ
ナ分類が5類へ
移行するため、
これから視察や
研修が再開され
ると予測されま
す。魅力ある議
会だよりを作る
ために切磋琢磨
して前進しよう
と思えた視察で
した。

次回定例会は

6月7日(水)開催予定

日程 6月7日(水)～16日(金) (予定)

会場 庁舎 4階 議場

(日程は変更になる場合があります)

議会広報編集特別委員会

- 委員長 三宮 美香
- 副委員長 豊瀬 和久
- 委員 時松 智弘
- 田代 元氣
- 大村裕 一郎
- 発行責任者 議長・桐原 則雄

編集後記

統一地方選は、相変わらずの低投票率でした。大津町議会でも前回選挙が無投票だったことを踏まえ、議会の活性化を図るべく、取り組みを進めています。

今年度は、コロナ禍で開催できなかったジュニアリーダー夢議会も予定されており、より開かれた議会を目指し、積極的に活動していきたいと考えています。

町民のみならず皆様からのご意見も募集していますので、右側のはがきにて忌憚のないご意見、よろしくお願ひ致します。(田代)

この議会だよりは、リサイクル推進のため再生紙を利用しています。

令和5年5月15日 第103号 発行/熊本県菊池郡大津町議会
編集/議会広報編集特別委員会 印刷/株式会社キヤップ
〒869-1292 熊本県菊池郡大津町大津1233 ☎(096)293-8989

↓ 皆さまの声を寄せてください!

切り取ってお出しいただき

郵便はがき

料金受取人私郵便

8 6 9 - 1 2 9 0

大津局
承認
702

(受取人)

大津町大字大津1 2 3 3 番地

差出有効期間
2024年5月14
日まで
(切手も貼らずにお出しいただき)

大津町役場 議会事務局

議会広報編集特別委員会 行

ふりがな
ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく際に、イニシャルやペンネームをご希望される場合はこちらにご記入ください。

ご住所

お電話 () - () - ()

議員の賛否を公開します

上程された議案・概要	榎原 剛雄	荒木 俊彦	津田 桂伸	永田 和彦	坂本 典光	大塚 龍一郎	佐藤 真二	豊瀬 和久	山本 富二夫	山部 良二	三宮 美香	大塚 益雄	西川 秀賢	時松 智弘	田代 元氣	大村 裕一郎	賛成 ○	反対 ●
児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令の施行に伴う関係条項の整理に関する条例	-	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1
一般会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1
国民健康保険 特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1
介護保険 特別会計予算	-	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1
後期高齢者医療 特別会計予算	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	1

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。賛否の分かれた議案のみ掲載しています。
 ■賛否表 ○は(賛成) ●は(反対) 葉は(棄権) 欠は(欠席) 早は(早退)
 その他の議案については議会ホームページをご覧ください。

大津町議会 検索

誰もが住みたくなるまちへ



2023年度予算が成立しました 一般会計予算168億1562万円

詳しい内容は、広報おおつ 4月号4・5ページに掲載

3月定例会議

会期期間16日間 3月2日～3月17日

新規事業の中から、いくつかを町の皆さんの声と共にお知らせします。

3月定例会の議案等は

予算	18件
条例について	11件
人事	1件
その他	4件

予算

小中学校校舎改修費等

17億4,924万円



坂田 七海さん 大津中学校生徒会長

現在の津中では、床のタイルがはがれるなど老朽化が進んでいます。みんなが校舎改修を望む中、今回その願いが叶います。新校舎でも元気に大中生らしく頑張りたいです。

道路新設改良費

3億4,899万円



本田 みちよさん (そよかぜ台)

通学路なので、道路が広がって歩道ができることは嬉しいですが、速度規制などの安全対策をお願いします。



坂本 幸一さん (前団長)

消防団員の新たな基準活動服

1,580万円

活動服が新しくなり、大変感謝しています。これから新しい活動服をまとい、町民の安心、安全のためにさらに尽力していきます。

工業団地

2,719万円



小椋 早夏さん (室)

雇用や人口が増えるのは良いことだと思います。朝夕の渋滞が気になっているので、渋滞や事故が起きないように対策してほしいです。

出産・子育て応援給付金

4,000万円

新生児聴覚検査助成事業

190万円



本田 美和さん (杉上)

産休に入り収入も減るので、出産・子育て応援給付金をいただけるのはありがたいです。給付金は出産準備で赤ちゃんに関わるものの購入に全額当てたいと思います。聴覚検査も大事な検査なので負担が減り助かります。今後も継続していただけたらと助かる家庭は多いと思います。

新たな健康づくり事業委託

100万円

健康づくり推進

600万円



詳しい内容は、広報おおつ 4月号8・9ページに掲載



地域活性化企業人/株式会社ルネサンスから派遣 古下 達憲さん

大津町が、いつまでも健康で楽しく安心して暮らせる地域となり、皆様が自分らしく生きるため、自ら健康活動に取り組むことができるようお手伝いさせていただきます。「新たな健康づくり事業」として、健康保険課からも施策のサポートもいただきます。また、熊本健康アプリに参画し、より健康づくりを身近に感じていただくよう努めていきます。

議員の視点

(発言の一部を抜粋して掲載しています)



豊瀬 和久議員

問 公共交通に関しては、利用者アンケートを行うなど、検証を行ってきか。令和5年度に実証運行の事業認可申請を行うというところだが、どのような運行プランで、いつから実証的な運行を始める予定なのか。

答 国との協議、あるいは申請等を踏まえて10月に実証運行ができるよう進めていきたい。内容については巡回バスでいいの。デマンド型のタクシーがいいのか。また、どういったコースを運行したほうがより効率的なのかなどを検討する。



田代 元氣議員

問 役場駐車場について、歳入30万円に対して経費などの支出200万円と経費が大幅に高くなりすぎている。この経費が町民の利益となれば良いが、今後もこのような運営を続けていくのか。

答 駐車場については来庁者の駐車場と位置づけと住民の利便性、地域経済に貢献するという意味で整備しているが、経費削減についても必要なので、考えていきたい。



時松 智弘議員

問 集団健診事業において、受付では保険証の確認がある。マイナンバーカードが使えればスムーズに受付を行える。DX推進の町として、対応できない健診受託事業者は別の業者に見直しをしないのか。

答 マイナ保険証は町内医療機関で半分程度対応可能状況だが、集団健診では対応できていないため、今後の検討課題である。健診事業者は複数あるので、選定も含め、良い健診計画となるよう検討する。



荒木 俊彦議員

問 福祉の相談窓口については外部委託しなければならないのか、職員が担当することはできないのか。

答 現時点ではその資格等をもっている職員はいない、広い知見が必要となる。今の2人を活用しながら進めていきたい。



佐藤 真二議員

問 社会教育施設、体育施設、小中学校の体育館などは統一の予約システムにした方が便利になって良いのではないか。また、分けて導入するのではなく、体育施設の指定管理開始に合わせてまとめて導入すべきではないか。

答 今回は、既にリモートロックを入れている公民館等の施設に導入し、今後、そのほかの社会教育施設、指定管理以降する体育施設、夜間開放している小中学校の体育館などにも導入し、同じシステムを考えている。



山部 良二議員

問 町長もインクルーシブ促進を目指していると思うが、補助金の事業実績はあったのか。障がいがある人と同じように喜ぶ町にするべきだと思う。県の良い施策があるので町としても促進するようなPRが必要ではないか。

答 熊本県の補助事業で対象は不特定多数の人が利用する施設となっているが、ここ数年は利用実績はない。ユニバーサルデザインについては県もPRしているが、町のPRも必要なので、検討をする。



三宮 美香議員

問 空き家実態調査業務委託について、今後どう考えるのか。

答 5年に1回の実態調査が今年度になるため、実態を調査して新たな施策に繋げたい。



永田 和彦議員

問 家庭的保育事業者等の安全計画や業務継続計画に関する条例は、どう活かせるのか大事であるので、安全管理等については、定期的かつ抜き打ちで現場を確認し、指導していただくような体制が必要ではないか。

答 県の实地検査は現場立ち合いが原則となっている。町の方も連携しながら効果的な検査を実施したい。

柔軟かつ適切な対応を



熊本市南区的実証実験

地域公共交通まちなかエリア実証実験

Q コミュニティバスなど、まちなかエリアの実証実験はどのような運行形態を考えているのか。

A 巡回バス、巡回タクシー、デマンドタクシーの3案を交通事業者などの意見を聞きながら絞り込み、公共交通会議の中で示していく。

意見 AIを活用したデマンドタクシーの取り組みが県内でも進んでいる。そうした事例を参考に実情に合った仕組みを作ってほしい。

空港ライナー利用者の声をどう受け止めるか

Q 「空港ライナー」を利用しようとしたところ、飛行機の搭乗者を優先します。と案内され、キチンと周知してほしかった」との意見があった。柔軟に対応できないか。

A 状況に応じ搭乗者が優先されることもあるが、新空港は地域密着型を目指し搭乗者以外の方の利用も重視した取り組みも進めており、利用方法の周知も含めて取り組む。



航空機利用以外の対応も

行政区嘱託員が保有する個人情報の管理要領は

Q 行政区嘱託員が名簿を作成する場合、適切な保管と点検が義務付けられる。その周知は十分だったのか、また管理方法の点検は。

A 個人情報の保護に関する具体的な注意点の明示までは至っていない。具体的に明文化し周知を行う。

また、行政区嘱託員は事務の委託契約をしているので、条例も当然適用される厳格な保管の依頼と定期的な検査方法を検討する。



「つくる責任つかう責任」

急激な発展に、

役場駐車場収益改善と不適切な利用の防止は

Q 役場有料駐車場が160万円の赤字になっているが、元々は違法駐車抑制のためでありやむを得ない。

A しかし、無料開放している場所に、長時間駐車する事案が発生している。これでは赤字になるはずがない。町民からの苦情も上がっていると聞く。対策は。

A 無料時間の3時間に設定や、無料開放スペースのまちなか買物利用者への利便性確保は続けていく。ゲートがない場所の不正利用については外部からの指摘もあることから、町からも指導する。



町有財産の適切な活用を

役場総合案内の現状と本来の機能の充実を

Q 役場総合案内内の職員がマイナポイント業務にかりきりになっている。総合案内の機能が十分に活かされていない。改善策は。

A 会計年度任用職員の退職の時期と10月からマイナポイント業務が重なり、総合案内業務がおろそかになっていた。

現在は欠員は解消されており、今後、状況をみながら調整し、受付対応をする。



総合案内カウンター

町が保有する財産の貸し付けルールの策定を

Q 町の普通財産の管理に関して、売却を行う場合にはその不動産の鑑定を行う予算が別途設けられるが、貸し付けの場合はまだルールが未整備だ。

A 町として明確な基準の整備方針を持つべきではないか。

A 貸し付けの方法などを定めるため、整理と準備を進めている。

想定される点を考慮し、今は県の計算式を準用しているが、しっかりと整理していきたい。



包括支援センター跡地

総務委員会レポート

はっ てん 発展のために

町に活力と賑わいを

◎ 地藏祭は実行委員会形式で行っているが、実質的には商工会が実施しているため、何かあった場合に責任が取れる人がいない。
万燈会部分だけを外部に出したとして、他の部分を町の主催として実施することにより、責任の所在や花火の規制を解決でき、町中心部の人だけの祭りではなく、町全体の人が楽しめる印象となり、まとまりが出るのではないかと町も実行委員会に入り協議しているが、今回の意見を踏まえ検討していく。



万燈会供養の様子



収穫されたからいも

大津特産のからいもを守るために

◎ かんしよ基腐病対策の補助金について、今後も苗の消毒に補助を行うのか。

◎ 町では、基腐病対策協議会を立ち上げ、3年間補助を行ってきた。

協議会から事業継続の要望があり、引き続き苗及び苗床の消毒にかかった経費の2分の1の補助を考えている。
また、対策に効果のある農薬があれば、支援拡充を行っていく。

こん ご おお づ まち 今後の大津町の

経済建設 委員会 レポート



室工業団地

工業団地の整備計画は

◎ 熊本市は工業団地を令和8年度から操業開始とあつた。

大津町ももう少し早く完成できないのか。

◎ 工業団地は、1カ所は直営だが、もう1カ所は民間主導で取り組みたい。関係法令などもクリアしながら、早期に取り組んでいく。

企業誘致の状況は

◎ 企業誘致の状況について、問い合わせ件数56件のうち立地数が14件とあつたが、残りの立地に至らなかつた理由は何か。

◎ 土地の広さや形状、価格などが企業側の方針に沿わなかつたことが主な要因だと考へる。分譲開始まで時間はかかるが、民間の力を借りながら、企業誘致を行う。



企業誘致のパンフレット

農業用水の確保は

◎ 電門ダムの水は農業用水として使用されている。昨今の報道では、工業用水としての利用も検討されているとあるが農業用水への影響はないのか。

◎ 農業用水への影響については、県企業局などが分析を行うと思われる。

農業用水の割当て分を使用すると影響が出るため、調整されると考へている。



電門ダム (菊池市)

工業団地分譲開始後の取り組みは

◎ 分譲は4年後だが、それまでに他の市町村に進出を検討している企業を引きとめる策を考へているのか。

◎ 既に他市町村に立地された企業でも、更なる増資を検討される場合があるため、動向をしっかりと把握し、町の優位性をアピールしながら、引き続き企業誘致を行っていく。



企業振興課

たい おう と く 対応した取り組みを



学童のイメージ図

急な人口増にも対応 できる施設の整備を

○ 護国小学校周辺でも宅地の開発が進んでいるが、今回の40人2クラブで対応できるのが。
人口増で、5・6年後に新たに整備するようになることになると税金の無駄にならないか。

○ 国の補助などでは事前には大きい施設を整備する考えは基本的にはないが、今後は人口増の兆候を注視し、急激に人口が伸びるということであれば設計段階で検討していく。

○ 近年開館された図書館では、本を借りるという考えから、コーヒーを飲みながら会話をしたりとコミュニティの場へ変化しているが、今後の運営や管理方法についての考えは。
○ 図書館がコミュニティの場として求められていることは承知している。席数が不足した際は集会所も開放し対応しているが、今後は、館内での飲食も含め、利用者の意見を聞き、管理についても検討したい。



おおづ図書館

今後の図書館運営について

町を挙げて応援する 取り組みを

○ 全国大会出場報奨金は兵庫県も対象とするよう見直されたが、他にも拡充している点はあるか。
また、横断幕などを庁舎に掲げ、町を挙げて応援する取り組みが必要ではないか。

○ オリンピックや世界選手権など大会ごとに金額を分けて交付できる基準を設けた。また、横断幕についても要綱を定め、オリンピックなどは町が作成し掲示するが、全国大会などは掲示場所を提供する方向で整理している。



庁舎に掲げられた応援横断幕

じ だい な が へん か 時代の流れと変化に

文教厚生 委員会 レポート

職員との連携は万全か

○ ふくしの相談窓口に配置している委託先と役場職員との連携体制はどうなっているか。

○ 社会福祉士や相談支援機関などでの実務経験者を配置している。複雑化、複合化する相談が増加する中、専門的知識やノウハウを有する事業者と、役場職員が役割分担をしながら、連携を密にし、町民に寄り添った相談支援を行っている。



ふくしの相談窓口



シルバー会員による作業

バックアップ体制を 丁寧に

○ シルバー人材センターについて、コロナ禍や燃料、機械器具の価格が高騰する中、実績状況は。また、町に対する要望などはないのか。

○ 令和3年度の会員数は約3百人で一人当たりの平均月額は約3万6千円となっている。物価高による要望などは受けていない。センターの努力で県内でも会員拡大率は高いレベルであるため、今後もヒアリングを続けていきたい。

公平な事業に向けた 取り組みを

○ 金婚表彰事業について、対象者が申請しないと記念品がもらえないのは不公平ではないか。

○ 対象者への周知については、町の広報や主催者である地元新聞社が行っている。町では対象者の把握は難しいが、申請を忘れた人が翌年度に申請されても受付し、対応している。



大津町金婚夫婦表彰式

一般質問

町政を問う 3月定例会

一般質問に16名中9名が登壇



町のさまざまな問題・課題について、議員が町に考えを問うのが一般質問です。議員は政策提言も含め、質問することができます。ここでは、質問した議員ごとに一項目を要約してお知らせします。一般質問のライブ・録画配信を行っています。顔写真横の二次元バーコードからご覧になれます。
※一般質問の記事に関しましては、各自が編集したものを掲載しています。

さらに踏み込んだ子育て施策を

A 多様なニーズに応えていきたい



たしろ げんき
田代 元気議員



町内の保育園

町長の公約、子育て支援・教育環境日本一のみちづくりについて、これまでの取り組みについて自身の評価は、また、この具体策にある項目だけでは到底日本一にはなれないと考えるが、この具体策以外にも一歩も二歩も踏み込んだ施策が必要である。教育環境についても、市内公立校の学区の拡大より、定員割れが続く大津高校の魅力化を地元自治体として図るべきだ。

保護者の負担軽減策として、18歳までの医療費の無償化や学童保育の補助金新設、物価高騰における各年齢層への支援を行ってきた。今後も、子どもたちは町の宝と考え、多様なニーズに応えていきたい。(町長)
放課後の学習会や英会話などを通して、地元小中学生と町内の高校生が関係を深めている。そのような絆を深めることにより地元高校への思いも強くなり、目指しているのと考えている。(教育長)

その他の質問

・中学校部活動の地域移行について

町玄関にふさわしい駅北口の安心安全を

A 具体的な安全対策・カラー舗装等を実施する



ときまつ ともひろ
時松 智弘議員



駅北口の事業者の方から、交通量が多く、一時停止不履行や自転車のスピードの出しすぎなど、危険を感じるため、調査の依頼を受け、調査したところ、一時停止不履行が4割以上と厳しい結果となった。美咲野団地の開発に始まり、現在の室小周辺地区の住宅建設ラッシュなど、今後も子育て世帯の転入が高い水準で続くことは明らかだ。高校通学者等の駅利用者が増加の一途、駅へのアクセスは自動車での送迎が主であり、自転車利用、徒歩利用が多い時間帯では交通が錯綜する。玄関にふさわしい駅北口周辺の安全対策は、

事故防止や一時停止の励行の為、カラー化対策を

県内で5番目に利用者数が多い肥後大津駅は、今後利用者増加が予想され対策を的確に行っていく必要がある。北口の状況も朝夕の時間帯には高校への通学者が主な利用を占めており、送迎を含め自動車を運転する人にも、横断歩道がよりわかりやすいように、カラー舗装を施す。県道部分の交差点カラー化も交通管理者や県に対し、町民などの交通事故防止のために、早期の実現に向けて要望する。今後も、安心安全のまちづくりのために、高校生や一般住民の意見をとり入れながら、体制の整備や関係機関との連携強化を努めていく。(町長)

その他の質問

- ・任期半ばを折り返して掲げた公約の進捗と、令和5年度の政策重点は
- ・企業進出ラッシュ、人口増加をうけて伴う町道の整備指針は
- ・子育て支援課所掌の利用者送迎に関わる事業者の安全対策は

「通いの場」への支援強化が必要

A 補助内容を検証し、見直していきたい

※1 通いの場とは 一住民主体の高齢者の居場所一



とよせ かずひこ
豊瀬 和久議員



つどいの場(桜丘区)

通いの場を維持し、内容を充実させるためには、遊具の確保や、情報提供などの支援体制の強化と、助成金の拡充が必要ではないか。全世代の健康づくりのためインボディ測定や運動教室等の取組が行われるが、この事業を、アウトリーチで活用すべきではないか。また、ボランティアポイント制度を創設し、通いの場を運営していただいている人に対して、感謝の気持ちをあらわしていくことも必要ではないか。

通いの場については、各種補助金の制度をお伝えしている。通いの場を活発にされている地域もあることから、補助の内容については、検証し、見直しを行ってみたい。またインボディ測定や運動教室等のアウトリーチに関しては、いかに多くの人に健康づくりに関わっていただくかが重要な事なので、地域と連携を図ってみたい。ボランティアポイント制度については、全国の事例を研究してより良い制度を整えたい。(町長)

その他の質問

- ・手話言語条例について
- ・多子世帯への給食費の補助について
- ・人権啓発福祉センターの役割について
- ・土地区画整理事業について

台湾と友好都市を結ぶ考えはあるか

A 新たな姉妹都市提携も有効な手法



やまもと 山本 富二夫議員



台湾友人による東小学校との交流会

日本と台湾との友好都市を結ぶ事による交流で人々の考え方や多くの事を知る事が出来る。転勤されてくる家族の方も、慣れない日本生活の中でストレスを感じられると思う。ストレスを貯めないうえ、台湾人の家族と町民の交流の場を、例えば総合体育館などの使用や各施設を気軽に提供することこそ町民との交流も生まれる。東小学校では、3回目の台湾の人との交流を開催した。子どもたちも慣れてきて台湾語での会話もあった。

現時点では、台湾の都市との友好関係を結ぶ検討段階にはない。益城町や菊陽町においては協定に向けての取り組みをしている。将来的な交流推進の方策を考えたい。(総務部長)

その他の質問

- 浄化センターの汚泥のたい肥化
・からいも生産農家の高齢化に対しての取り組みをすべきだ

酪農・畜産業の危機=再度の支援が必要

A 国・県に強く要望し、町も最大限の支援を行う



あさき 荒木 としひこ 俊彦議員



Table with 2 columns: Category and Count. Rows include Dairy Farms (17), Meat Cattle Raising (65), and Pig Raising (11).



NHKの放送記事より 2023年3月2日

畜産・酪農家が、かつてない経営困難、苦境に立たされている。飼料や燃料代、電気代、牛舎に敷くおがくずの購入費用など、軒並み価格が上昇し、さらに収入の3割ほど占めていた、雄の子牛の価格が下落して、大変な苦境に立たされている。このままでは、酪農や肥育農家の廃業、倒産が多発しかねず、国内産の牛乳や加工品が足りなくなれば、消費者も困ることになる。

畜産業は、日本農業だが、コロナやロシアのウクライナ侵攻、円安などの影響で、経営が大きく悪化していることは承知している。特に酪農は、牛乳や乳製品の消費が激減し、生産抑制を余儀なくされ、飼料価格高騰、牛の価格も暴落して酪農も困難な状況であると把握している。町やJA、農業団体による独自の支援にあわせ、強く国や県へ要望活動を行い、町としても、交付金を活用し、最大限の支援を行ってきたい。(町長)

その他の質問

- ソーラーシェアリングの普及促進

ふるさと納税の基金化と活用の枠づけ

A 今後検討を深めたい



さとう 佐藤 しんじ 真二議員



ふるさと納税の受入が急増しているが、寄付の大半は使途が指定されておらず、そのまま財政調整基金に積み立てられているだけ。活用方法を提案する。①特定目的基金を設置し、その中で収支を明確にする。②基金から行政コストに充てる場合の条件と上限を定める。③その上で積極的に活用する。基本的な財政需要の外で活用する「人への投資」などが例。ふるさと納税の有効な活用のための基金化と活用の枠づけを提案する。ふるさと納税は財政的に厳しい中、貴重な財源と考える。具体的な枠づけを加える取組は、新たな寄付を呼び込み、寄付者の希望にマッチした活用につながることからクラウドファンディング型の取組も検討している。今後、枠づけの内容及び基金化について検討を深めたい。(町長)

ふるさと納税をどのように活かすか (R3年度歳出決算のイメージをもとに説明)



ロアツ熊本ホームタウン誘致を

A 情報収集や課題の整理を進めている



やまべ 山部 りょうじ 良二議員



多目的広場 人工芝コート

その他の質問

- 子育て支援・教育環境日本一のまちづくりについて
・人生100年時を見据えた福祉について

以前、空港アクセスの鉄道ルートに「スポーツの森運動公園」分岐ルートを提案したが、JRの意向もあり肥後大津分岐が濃厚だが、住民より「新たな駅建設を求めるとはできない」。また熊本県とサッカーと言えば「大津高校」と県民なら誰でも頭に浮かぶのではないかと。そんな中、ロアツ熊本の本運営会社は、将来的なスタジアム建設で「熊本市以外

の自治体も想定している」と取材に答えている。以上踏まえればスポーツの森に「ロアツ熊本」のホームタウン誘致するべきではないか。新駅を作れば、大量輸送も可能。道路網の整備など(渋滞など)課題も山積。しかし誘致は、町外からの来客による経済効果だけでなく、住民の活気やスポーツの町としてのブランド向上や郷土への誇りにもつながると捉えており、県の動向も見守り、また住民の皆様の理解・意見も伺いながら、より本町の発展が加速するような形で可能性を研究していく。(町長)

経済建設委員会 視察レポート

視察テーマ

- 1、工業団地の視察
- 2、鳥栖市経済部商工振興課の工業団地整備について
- 3、下水汚泥処理について



経済建設常任委員会は2月13日から14日にかけて佐賀県鳥栖市の2カ所、福岡県糸島市の1カ所の計3カ所を視察しました。

佐賀県鳥栖市では大津町にも工場がある東洋新薬の鳥栖工場並びに鳥栖市役所経済部商工振興課を訪問し、工業団地の整備手法や農政との関わり、現状に関して意見交換を行いました。

また、福岡県糸島市では、大津町で発生した汚泥を最終処分している井上政商店を訪問し、汚泥処理として農業用肥料への変換の工程を視察しました。下水汚泥が今後増えていくことが予想される中で、汚泥が適切に尚且つ環境に配慮され行われていることを見ることができ、非常に有意義な視察でした。今回の視察を通じ、町に必要なことを提言できるよう努めて参ります。

追跡 どうなった？ 一般質問のその後

質問 応援体制の充実を

全国大会や国際大会などへ出場する際、町を挙げて応援する姿勢が見られない。要綱などを整備し、応援体制を整えるべきではないか。

答弁 関係機関と協議し、年度内に要綱を制定できるよう進めたい。

要綱を制定し、令和5年4月1日に施行しました。国際大会などへの出場の場合は、町が横断幕などを作成し庁舎に掲示します。

質問 利用者の安全確保を

運動公園多目的広場は多くの人に利用しているが屋根付きの休憩スペースがない。

利用者を守る観点から、建屋等の整備が必要ではないか。

答弁 熱中症対策や落雷からの避難スペースが設けられないか、調査研究を進める。

令和5年度に昭和園テニスコートと合わせて、一時避難所をかねた休憩所の整備を行います。



Q 通学路における安全対策は万全か

A 早急に整備を行い通学路の安全確保に努めます



おおつか ますお
大塚 益雄議員



現状

Q 通学路の安全点検については、各校区の青少年育成協議会やPTA、地域の協力で危険箇所の報告や点検が行われている点検により教育委員会や問題箇所の担当課や警察により改善や対策が行われている。しかし、予算や実施方法等で未改善の箇所がある。特に美咲野から榮善交差点までの間小中高生の通学路であり、桜の成長に伴い緑石が膨れて歩道が盛り上がり危険である。

A 通学路の安全対策については、通学路安全推進協議会を設置し学校及び保護者から報告のあった箇所については、警察をはじめ県や町の関係部署による合同点検を実施している。将来的には道路植栽維持管理計画を策定し地域の特性を活かし植樹の更新を行いたい。

A 樹木の成長に伴い歩道や緑石の盛り上がりについても、歩行者の通行に支障をきたしているものについては段差解消の工事を行っている。今後についても危険性の高い箇所については対応していく。(都市整備部長)

その他の質問
・大津町のゲートウェイとしての役割について

多国籍時代の町政運営について 指定管理者制度の問題点について 施政方針と政党政治について

ながた かずひこ
永田 和彦議員



出典：公正取引委員会ホームページ (https://www.jftc.go.jp/) など

※ 録画配信をご覧ください！

論点
多国籍時代の町政運営について
生まれ育った環境は違い、しきたりや道徳、善悪正否を判断する理も違う
大津の住民はOKでも外国人はNOが出てくる
指定管理者制度の問題点について
東京オリンピック、パリンピックの汚職事件と類似する。

施政方針と政党政治について
自民党の支部長をされて中立性・公平性の確保はできるか？
施政方針を初め町政全般が自民党よりになるのは必然である。

質問の相手はすべて町長です。

議会を観ての生の声

3月定例会の傍聴者数のべ27人、ライブ配信再生回数807回 録画配信再生回数286回(4/27時点)

難聴者に理解あるまちづくりを



みやの そのえ
宮野 園恵さん
(美咲野)

初めて議会の傍聴をしました。議員の皆さんの限られた時間内での真剣な質疑応答、配られた資料にも町民に対する思いが感じられました。

その中でも「手話言語条例」を取り上げてくださった質問がうれしく思いました。

私の周りには聞こえない・聞こえにくい人が幅広い年齢でいらっしゃいます。特に高齢で聞こえにくくなった人は「手話を習っておけば良かった」と後悔されています。子ども達が皆、小さい時から手話に馴染んでいれば、自分が高齢になり難聴になっても子どもや孫とも手話で会話ができ孤立しない、こんな世の中を実現できる。もし手話がなくてもアプリなどで、ろう者・難聴者の理解がある大津町になる事を期待します。

多くの人に手話言語条例について関心を持ってくださるといいな

○議会への提言・疑問・質問などをお寄せください。

○今回の議会だよりで関心のある記事や感想があればお書きください。また、もっと読みたくなるような「アイデア」があればお寄せください。



まえはし えみこ
前橋 恵美子さん
(つつじ台)

大津町でも手話言語条例制定の話があると聞いて議会でweb配信で傍聴しました。

どうして手話に興味があるかという、かつて手話サークルに入り、手話を使って生活をしている友人と出会い、今でもつきあがあるからです。

手話を教わってビックリした事がいくつもあります。今では当たり前のことも昔は違ったそうですから、これまでの取組みで改善されてきたんですね。

最近では、ドラマ「サイレント」や「星降る夜に」が放送され、手話に注目した方もいらっしゃると思います。

多くの人に手話言語条例について関心を持ってくださるといいなと思いつつ、この感想を書いています。

現在は大津町の手話サークルに在籍しており、役場ロビーにて手話教室が開催されていますので時々参加しています。

相手の思いを分かり合える大津町になれば嬉しいです。

若者の視点 尚綱大学生によるレポート 31

大津町議員との意見交換会を終えて

さる4月21日(金)に、尚綱大学九品寺キャンパスにて大津町議会の広報委員5名と尚綱大学現代文化学部1年生の「社会調査法」という授業の受講生14名とで意見交換会を行いました。学生からは多方面にわたった質問があり、とても有意義な意見交換ができました。以下2名の学生の感想をご紹介します。



大津町議会だよりは表紙がおしゃれ

議員たちの話を聞いて、まずいろいろな理由で議員になられたり、同じ大津町の議員でも目指していることや考えが違ったりしていることを初めて知った。

議会だよりについては、家に市のたよりがあるが、実際に読むことはなかった。表紙はともいい写真が使われているのだが、その先を読もうとは思わなかった。しかし、大津町議会だよりは表紙がおしゃれで、読んでみようと思われた。

聞いてみると、まずページの端に目次がついていたのでとても読みやすく、またさまざまな色や写真、イラストなどが使われていたので想像がしやすく、大津町に住んでいない私でも大津町について少し理解ができた気がする。

また、熊本県町村議会だよりコンクールで特選と評されたそうで、とても努力してみんなが読みやすい、読みたいと思えるたよりを作られたと思い、私が住んでいるところのたよりも読んでみようと思われた。ほかにも、学生から意見が出たことにすでに取り組んでおられたり、学生の意見を取り入れて作ろうという姿勢がみられ、とても感心した。若者の意見を反映させるために、私も選挙にこれから参加していこうと思うようになった。

行政用語を多用していても十分に見やすい

私は議会だよりについては印象に残っている点が4つあった。まず1つ目に問いと答えが対になって見出しになっていること。2つ目に写真やQRコードの挿入が多いこと。3つ目に色とフォントの使い分けがされていること。4つ目に楷体で書かれていることで文字数の省略である。私はこの4つの要因から行政用語を多用していても十分に見やすい文章が構成されているのだと考えた。

そして、最後の質疑応答では、議会で優先されやすい議題について尋ねると、住民からの要望が強いもの、国全体で取り組まなければならない物事の優先順位が高いという返答があった。このことから議員の方々は住民の意見と真摯に向き合われているのだろうと思った。また、住民の意見に対して早急に問題解決に務める仕事は大変ながらもやりがいがありそうだとつくづく感じた。



現代文化学部
1年
もりなが
森永 りんさん



現代文化学部
1年
いわもと
岩元 美玲さん

定例会総括

委員会レポート

一般質問

委員会研修レポート

大学生レポート

住民の声